

1. 調査目的

この調査は、市政に関する市民の考え方を把握し、今後の市政運営の基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査項目

この調査の調査項目は以下の8項目である。

(1) 属性について

性別、年齢、職業、家族構成、住宅状況、居住年数

(2) コミュニティ誌「ふれあい東大阪」について

コミュニティ誌「ふれあい東大阪」の認知、コミュニティ誌「ふれあい東大阪」の閲読率、コミュニティ誌「ふれあい東大阪」で楽しみにしているコーナー

(3) ゴミ排出について

古紙類の排出方法、集団回収の認知と利用状況、集団回収の非利用理由、古紙類の回収拠点を設置してほしい場所、排出環境の充実を図るべき品目

(4) 東大阪の「みどり」について

みどりの多さに満足している場所、みどりの多さに満足していない場所、みどりの美しさに満足している場所、みどりの美しさに満足していない場所、東大阪市の「みどり」の総合満足度、「みどり」を増やすための具体的な方法、「みどり」が増えてほしい場所、参加したい「みどり」の満足度をあげる取組み、

(5) 食育について

「食育」への関心、朝食の摂食状況、朝食の内容、主食・主菜・副菜を揃えて食べる頻度、野菜を食べる頻度、身長からの適正体重、メタボリックシンドロームの予防・改善行動の実施、栄養成分表示の注視度

(6) 救急安心センターについて

「救急安心センターおおさか」の認知、「救急安心センターおおさか」の利用方法の認知、「救急安心センターおおさか」の認知経路、「救急安心センターおおさか」の利用経験と利用場面、「救急安心センターおおさか」がなかったときの対応

(7) 老人センターについて

「老人センター」の認知、「老人センター」の利用経験、「老人センター」の非利用理由、「老人センター」の催しで参加したいもの、ボランティア活動への興味、参加してみたいボランティア活動の内容、ひとり暮らしの高齢者への声かけボランティアの参加意思

(8) 図書館について

よく利用する市立図書館、図書館の利用目的、充実してほしい分野、市立図書館の非利用理由、市立図書館の施設数への意見、市内に必要な図書館施設数

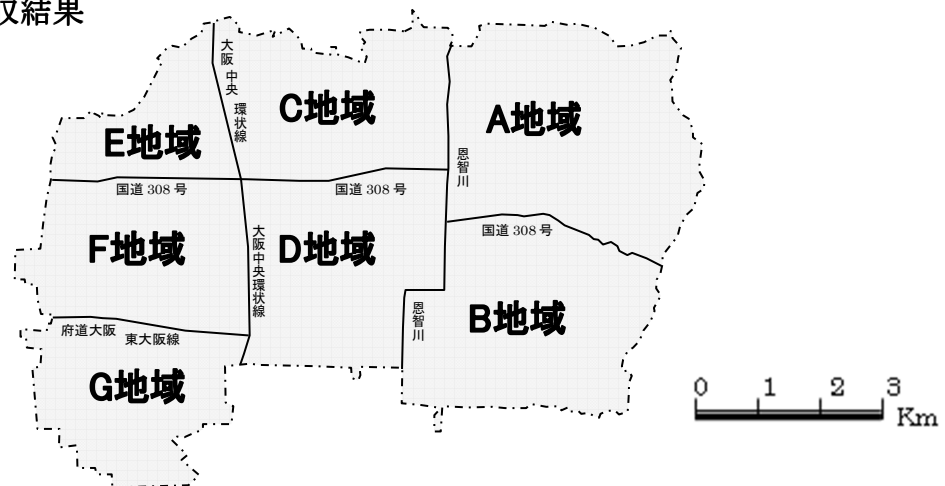
3. 調査設計

- (1) 調査地域 東大阪市内
- (2) 調査対象 市内全域在住の満 20 歳以上の市民
- (3) 標本数 2,709 人
- (4) 抽出方法 住民基本台帳による等間隔抽出法
- (5) 調査方法 郵送調査法（督促状 1 回発送）
- (6) 調査期間 平成 26 年 7 月 22 日（火）～ 平成 26 年 8 月 19 日（火）

4. 回収結果

- (1) 標本数 2,709 票（100.0%）
- (2) 回収数 1,455 票（回収率 53.70%）
※調査票を回収した結果、白票の 1 票を除き、1,454 票を有効回収票とした
- (3) 有効回収数 1,454 票（回収率 53.67%）

5. 地域別回収結果



	配布数	有効回収数	有効回収率
A地域	308	174	56.5%
B地域	365	207	56.7%
C地域	341	173	50.7%
D地域	523	269	51.4%
E地域	187	104	55.6%
F地域	545	290	53.2%
G地域	440	237	53.9%
合計	2,709	1,454	53.7%

6. 報告書の見方

- (1) 集計結果は、小数点第 2 位を四捨五入しており、回答比率の合計が 100.0%とならないことがある。
- (2) 複数の回答を依頼した質問では、比率の合計が 100.0%を超える場合がある。
- (3) 比率（%）は、その回答数を母数として算出している。